

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2025 年 7 月 23 日

株式会社ナガセ

東進ハイスクール・東進衛星予備校

東進は日本最多の模試ラインアップ！**【受験生対象】と【高2生対象】の計 21 種****難関国公立 12 大学の
「大学別本番レベル模試」を開催**

東大・京大・北大・東北大・名大・阪大・九大・東京科学大・一橋大・神戸大・千葉大・広島大

東進ハイスクール・東進衛星予備校（以下、東進）を運営する株式会社ナガセ（本社：東京都武蔵野市 代表取締役社長 永瀬昭幸）は、難関国公立 12 大学の「大学別本番レベル模試」を実施します。志望校に特化した“学力の精密検査”を行い、志望校までの距離や、志望者の中での自分の位置を確認できます。

2025 年は模試ラインアップを拡充し、高2生対象の「大学別本番レベル模試」を充実させるなど、日本最多の模試ラインアップがさらにパワーアップ。12 大学のべ 69 回の「大学別本番レベル模試」を実施します。解説授業・対策講座など、試験前後の学力アップコンテンツも強化し、「学力を伸ばす」ための模試として、全国の受験生・高校生の学習を後押ししてまいります。

①「大学別本番レベル模試」は、12 大学・69 回！ 高2向けも充実

志望校に合格するための学力をつけるには、その大学の出題形式に合った問題で学力を測定して対策することが欠かせません。東進の「大学別本番レベル模試」は、予備校界最大の全 12 大学 69 回（同日・直近日体験受験含む）。他予備校は年間 10 数回程度となっていますので、受験生向けで3倍、高2生向けも含めると5倍の「大学別本番レベル模試」を実施しています。特に千葉大・広島大の本番レベル模試と高2向けの大学別本番レベル模試は東進のみです。

7 月後半から始まる第2回の「大学別本番レベル模試」は、夏までの学習成果を2次試験レベルの問題で測ったうえで「学力を伸ばす」絶好のチャンス。詳細な成績表で現状分析を行い、学習優先順位をもとに合格戦略を立てれば、秋・冬の学習がより充実したものになります。日本全国の受験生が、「大学別本番レベル模試」を活用して「志望校との差」と「自分の伸びしろ」を正しく認識し、十分な対策を行って入試本番で力を発揮することを願っています。

大学受験の大学入試の勉強・受験の勉強

2025年度 東進現役合格実績

合格はここから

全国統一2次 | 企業統一2次 | 国産情報 | 2次2次 | 2次2次

校舎名、イベント名でも検索

検索 | Google

東進ハイスクール 東進ネット予備校 合格実績 定年の合格者数 東進模試 過去問アーカイブ 東進データPOD マイページ 資料請求 個別相談 入学申込

現在 申込受付中 の模試はこちら

学力を測るだけではなく、学力を伸ばすための模試。

模試の東進

巨大ベル模試

千葉大 本番レベル模試

模試の東進

中学学力判定テスト

早大レベル

④連続受験で「学力を伸ばす」！「大学別本番レベル模試」は複数回実施

東進模試は、学力を測るだけではなく、「学力を伸ばし合格する」ための模試。従来のような“合否判定を確認するだけで受けっぱなし”の模試とは大きく異なります。東進模試では、受験前の準備から受験後の復習・分析・対策までを総合的に行うなかで、“学力を伸ばし合格に近づく”ことができます。そして、本番レベル模試を連続受験することで、前回の課題をしっかりと克服できたかを確認し、次の課題を発見できます。このサイクルが学習計画の正しい軌道修正につながり、学力を大きく伸ばします。

そのため、「大学別本番レベル模試」でも、各大学の模試を一度きりではなく複数回実施しています。力試しのみならず、「学力を伸ばし合格する」ために模試を活用し、志望校合格をつかんでください。

東進模試



「絶対評価」×「相対評価」

定められた目標への到達度や達成度を測る「絶対評価」と従来の「相対評価」のハイブリッド評価方法

- Point1 志望校の合格目標得点までの差が明確にわかる
- Point2 前回からの学力の伸び(努力量)がわかる
- Point3 次回の模試の目標を具体的に定められる



〈従来型の模試〉「相対評価」のみ

集団内の他者と比較して、相対的な位置を示す評価方法

だから！

「過去」からの伸び、「現在」の学力そして「未来」に向けてどのように学習すれば良いかがわかり、合格に向けた学習計画を立てられます。

⑤「大学別本番レベル模試」5つの特長

特長 1.試験実施から最短中 7 日で個人成績表をスピード返却します。

※東大本番レベル模試の場合。他は中 8 日

東進模試は、他の追従を許さぬ超スピード返却！試験の記憶が残っているうちに、成績表をもとに振り返りができるので、模試受験の効果がより高まります。

特長 2.項目別の学力分析がわかる詳細な成績表で、

合格に向けた学習の優先順位を明確にします。

模試の成績表は、判定や偏差値を確認するだけのものではありません。“学力の精密検査”での詳細な分析から、学習優先順位が明確になり、「自分の伸びしろ」を知ることができます。

特長 3.志望校と同じ出題形式・レベルの予想問題を何度も受験できます。

「大学別本番レベル模試」は 12 大学全てで複数回実施しています。毎回2次試験本番と同じレベルだからこそ、合格までの距離や学力の伸びを正確に把握。本番に向けた貴重な予行演習になります。

特長 4.同じ大学を志望する受験生の中での

偏差値や順位、得点分布がわかります。

「大学別本番レベル模試」は、その大学を志望する受験生が集う模試。

入試当日に共に試験に挑む受験生の中での「現在の自分の位置」を知ることができます。

特長 5.「WEB 成績表」の合格ナビゲート機能を活用して、

入試本番での目標点から逆算した学習戦略をより具体的に立案できます。

WEB で成績表が見られるだけではなく、「どの科目で何点伸ばせば、C 判定から A 判定になるか」「優先順位の高い問題を取れていたら、判定はどうなるか？」などの具体的なシミュレーションができる機能を搭載。伸びしろを確認して、自分だけの学習戦略を立てることが可能です。

【株式会社ナガセについて】

1976 年創立。日本最大の民間教育ネットワークを展開するナガセは「独立自尊の社会・世界に貢献する人財」の育成に取り組んでいます。

有名講師陣と最先端の志望校対策で東大現役合格実績日本一の「東進ハイスクール」「東進衛星予備校」、シェアNO. 1の『予習シリーズ』と最新のAI学習で中学受験界をリードする「四谷大塚」、早期先取り学習で難関大合格を実現する「東進中学NET」、私大総合・学校推薦型選抜(AO・推薦入試)合格日本一の「早稲田塾」、幼児から英語で学ぶ力を育む「東進こども英語塾」、メガバンク、大手メーカー等の多くの企業研修を担う「東進ビジネススクール」、優れた AI 人財の育成を目指す「東進デジタルユニバーシティ」、いつでもどこでもすべての小学生・中学生が最新にして最高の教育を受けられる「東進オンライン学校」、幼児～中学生対象の世界標準のプログラミング学習「東進 CODE MONKEY」など、幼・小・中・高・大・社会人一貫教育体系を構築しています。

また、東京五輪で競泳個人メドレー2冠の大橋悠依をはじめ、のべ 53 名のオリンピックを輩出する「イトマンスイミングスクール」は、これからも金メダル獲得と日本競泳界のさらなるレベルアップを目指します。

学力だけではなく心知体のバランスのとれた「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」ためにナガセの教育ネットワークは、これからも進化を続けます。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

株式会社ナガセ 広報部 担当:市村(いちむら)、海老根(えびね)

TEL:0422-44-9001 Mail:pub@toshin.com